

ミツカングループ

コンプライアンス ガイドライン

はじめに

ミツカングループは、コンプライアンスを、法令遵守はもとより、相手から誠実、公正とみなされないおそれがある取引や活動は行わないこと、私たちが関わる全てのステークホルダーに対し、相手の身になり、相手のその先までをも考えて行動すること、と捉えています。

「ミツカングループコンプライアンスガイドライン」は、ミツカングループに所属する全ての役員、社員等に対して、一層の意識の向上と、「遵法・公正・倫理」の観点を持つこと、常に「説明責任」を果たせる行動をとることを目的として、制定しました。

ミツカングループが日々業務を遂行するうえで、拠り所となるグループ共通かつ基本となる判断基準・適切な行動として、「ミツカングループ

コンプライアンスガイドライン」を、ミツカングループ取締役会（株）Mizkan Holdings取締役会）で決議しております。私たちは、これに加えて、各国・地域の法令や倫理基準も踏まえて、行動していくことが必要と考えております。

私たちは、どのような変化の時代にあっても、企業理念である2つの原点のもと、「やがていのちが変わるもの。」の実現を目指すミツカングループの一員として、それぞれのステークホルダーに真摯に向き合い、多様な価値観の存在を受け入れ、公正・誠実な事業活動を行います。

ミツカングループは、真摯にコンプライアンスの遵守に取り組みます。お客様、お取引先、社員等、そして社会から信頼され、価値ある企業であり続けられるよう、コンプライアンスを遵守して行動してまいります。

目次

ミツカングループコンプライアンスガイドラインは、国内外のグループ会社のすべての役職員に適用されます。

本ガイドラインで使用される「私たち」、「会社」は、国内外のグループ会社およびその役職員を含んでいます。

• 人権の尊重	4
• 安全・安心な職場づくり	5
• 製品の安全性・品質の確保	6
• 環境の保護	7
• 競争法の遵守	8
• 贈収賄・腐敗行為の禁止	9
• 利益相反の防止	10
• 会社情報の保護・管理	11

人権の尊重

私たちは、企業活動において人権を尊重します。

人種・国籍・性別・年齢・宗教や政治的思想・障がいの有無・婚姻歴・子女の有無・性的指向・性自認などを理由とした差別は認めず、すべての人に平等な機会を提供します。

強制労働、過重労働、最低賃金を下回る労働、児童労働、ハラスメント・いじめ、不当な扱いを認めません。

現地の法令を遵守し、適切な労働環境、公正な労働条件、最低賃金の保証、結社の自由と団体交渉権等の尊重に努めます。

安全・安心な職場づくり

私たちは、労働に関する法令を遵守し、職場全体が協力して、安全意識を高める取り組みを推進します。

また、心身の健康を重視し、働きやすく安心な職場環境を構築するとともに、仕事と生活の調和を奨励します。

製品の安全性・品質の確保

私たちは、お客様を第一に考え、安全で満足いただける商品・サービスを提供し、お客様に安心をお届けする努力を続けます。

品質や安全性に関する法令を遵守し、透明性と公正性を持って情報を提供するとともに、お客様の声に真摯に向き合い、商品・サービスの改善に努めます。

環境の保護

私たちは、環境に関する法令を遵守する仕組みを確立し、サプライチェーン全体で環境負荷の低減を推進します。

私たちは、全ての事業活動で、環境と社会の持続可能性を高めることに挑戦し続けます。

競争法の遵守

私たちは、事業を展開している各国・地域において適用される競争法を遵守し、市場を独占しようとする行為、他の事業者と共同して競争を制限する行為、その他の公正で自由な競争を阻害する行為を行いません。

贈収賄・腐敗行為の禁止

私たちは、国内・海外を問わず、公務員及びこれに準じる立場の者への不正な接待・贈答・便益その他の経済的な利益の供与等の贈収賄・腐敗行為を行いません。

また、取引先等への接待・贈答・便益その他の経済的な利益の供与であっても、各国法を遵守のうえ、商慣習や社会的儀礼上、妥当な範囲でのみ行います。

利益相反の防止

私たちは、常に会社の最善の利益となるように行為し、会社との利益相反を生じる、あるいは生じるおそれのある行為を行いません。

取引先等との癒着関係等、独立性を損なうことに繋がる関係を持たず、不適切な金銭の受領・支払、便益の受領・提供は、会社としても、個人としても、一切行いません。

会社情報の保護・管理

私たちは、会社の機密情報を社内規則に従って適正に管理し、会社の業務の目的以外に使用しません。
また、私たちは、お客様、取引先等に対する守秘義務を遵守します。

個人情報については、適切に取得、利用、提供し、第三者へ漏えいすることがないように、法令および社内規則に従って適切に管理します。

私たちは、会社の知的財産権が重要な資産であることを認識し、会社の成長のために最大限活用します。
また、第三者の知的財産権を尊重し、これを侵害しません。